

令和4年7月15日

保護者の皆様

京都市立乾隆小学校
校長 土井田 一史

夏季休業期間中の健康管理及び熱中症の予防について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、新型コロナウィルスの感染者数は全国的に増加傾向にあり、感染を再拡大させないためにも、引き続き感染防止の取組を徹底することが重要です。

各家庭におかれては、夏季休業期間中におきましても、お子様をはじめ、ご家族の体調・健康管理の徹底、保健衛生意識の向上と実践に引き続き取り組んでいただきますようお願ひいたします。

なお、8月6日（土）から16日（火）までは学校閉鎖期間のため、その間のお子様の検査受検等の学校への連絡（下記④）は不要ですが、確認のため、8月17日（水）以降に改めてご連絡いただきますようお願ひいたします。

また、休業期間中に本校児童生徒等の陽性が判明し、他の児童生徒等に影響があると考えられる場合は、感染拡大防止のため、お子様の検査等についてご協力をお願いすることもございますので、あらかじめご承知おきください。

記

1 健康状態の把握

① 引き続き、**毎日朝晩、お子様の体温を測定し、発熱や咳などの症状はないか等、健康観察を行い、その結果を添付の「健康観察票」にご記入ください。**本票は必要に応じて学校に提出していただく場合がありますので、1ヶ月程度は大切に保管してください。

また、保護者の皆様も、お子様と一緒に毎日の健康観察にお取り組みいただき、ご家族で保健衛生の取組を進めていただくことをお願いいたします。

② **お子様が部活動等の機会に登校される際は、必ず「健康観察票」を持参させてください。**

登校前の健康観察で**発熱や咳等の症状がみられた場合は、学校に連絡のうえ、感染拡大防止のため、必ず登校を控えて自宅で休養させてください。**

※ 「健康観察票」の様式はこれまでお配りしているものと同じです。

③ お子様に発熱や体がだるい、咳が出る、のどが痛いなどの症状があるときは、かかりつけ医など、身近な医療機関（地域の診療所、病院）に、まず電話で相談し、速やかに受診してください。休日・夜間など受診できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」（電話 414-5487、365日24時間受付）に連絡してください。

④ **ご家庭において、次のような状況が起こった場合は、速やかに学校（電話451-0085）へ連絡してください。（学校閉鎖期間中は連絡不要ですが、8月17日（水）以降に必ずご連絡をお願いします。）**また、保健所等からお子様の自宅待機について要請があった場合は、登校を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

- お子様が、検査などにより**新型コロナウィルス感染症と診断された**
- お子様や同居されているご家族に**感染の疑い（疑似症）があり、検査を受けるよう医師等から言われた**
- ご家族などが**感染され、お子様や同居されているご家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師等から言われた**

裏面あり

2 感染症対策と熱中症予防

- ・ 各家庭においても、引き続き基本的な感染症対策の実践をお願いいたします。
- ・ マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、体温調整がしづらくなったりして、気づかぬうちに脱水になるなど、熱中症のリスクが高まります。「屋外ではマスクを外す」、「屋内でも人との距離（2m以上を目安）が確保でき、会話をほとんど行わない場合はマスクを着用する必要はない」等、厚生労働省や環境省からも示されていますので、熱中症対策を優先してください。
- ・ 暑さを避ける、クーラーをつける、こまめに水分を摂るといった「熱中症予防対策」と、適切なマスクの着用、換気の徹底といった「新しい生活様式」の両立に努めていただくようお願いします。

- 手洗い、密の回避（1密にも留意）の徹底！
- 屋内、特に人が集まる場所では、こまめで十分な換気を心がける！
- 飲食時の感染対策を！
- 热中症予防のため、場面に応じた適切なマスク着脱を！

（屋外で作業・運動等をされる際は十分に御留意をお願いします！）

感染を「しない」「させない」「ひろげない」ために ～引き続き、基本的な感染防止対策の徹底を～ 令和4年5月25日

マスク着用の考え方

- 屋外 ⇒ **人と会話する時は、着用しましょう**
- 屋内 ⇒ **マスク着用が基本ですが、人との距離を十分にとり、ほとんど会話しない時は、着用の必要はありません**



飲食時の感染対策



- **余裕を持った配席で、長時間に及ばないようにしましょう**
- 感染対策が講じられている**府認証店**の利用を
- 会話の時はマスクを着用し、大声で話さないように

大切な人、自分のために、ワクチン接種を

- ワクチン接種には「感染」や「重症化」を予防する効果があります。
- 接種を希望の方は、身近な地域の診療所・病院に直接相談。京都府医師会の「京あんしん予約システム」や本市ポータルサイトでの検索もご利用ください。
- 集団接種会場での接種は、**本市ポータルサイト(WEB)**や**本市コールセンター(電話)**からご予約



京都市新型コロナワクチン
接種ポータルサイト

「自分が感染しない」



- 部屋の換気、こまめな手洗い、手指消毒の心掛けを
- 「3つの密」を回避して、人と人との距離を確保し、大声での会話を控えて
- 多くの人が集まる場所では、混雑の状況に十分気をつけて、感染リスクを回避する行動を



「ほかの人に感染させない」



- 発熱や咳等がある場合、外出を控えて医療機関に相談
- 高齢者や基礎疾患のある方、これらの方と日常的に接する方は、感染リスクの高い場所への外出を控えて

「感染をひろげない」



- 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤等、人との接触の低減する取組を
- 職場の感染対策を再点検し、特に居場所の切り替わり（食堂、休憩室、更衣室等）での注意喚起の徹底を
- 業種別ガイドラインの遵守を
- 学校、保育所、医療機関、高齢者施設等において、各施設で決められた感染対策のルールを守って



※ 京都市HP「京都市情報館」より



熱中症予防 × コロナ感染防止

熱中症を防ぐために

屋外ではマスクをはずしましょう

環境省
厚生労働省
令和4年6月